

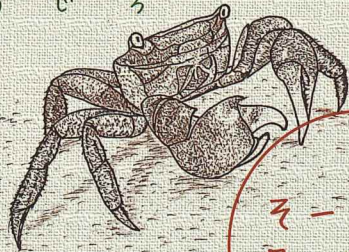
残したい  
大切な自然



森と干潟と海がつながっている

# 小網代の森

こ あ じ ろ



そーっと  
見に行こう



## 小網代の森のこと

かつての三浦半島は今よりも多くの緑や湿地がありましたが、住宅や道路などの開発により失われてきました。小網代の森も昭和45年に市街化区域になり、ゴルフ場や住宅の開発計画が持ち上がりました。しかし、市民による保全活動や、小網代の森が源流から干潟まで連続して残されている貴重な自然環境であることなどを受け、県は三浦市や開発を計画した京浜急行電鉄株式会社と、小網代の森の保全を含めた土地利用について調整を進めてきました。平成7年に農地造成や宅地開発及び緑地保全などを含めた三戸・小網代地区の土地利用方針を関係者に提示し、理解と協力を得ながら、かながわトラストみどり基金により緑地の買入れを進めました。平成17年には無秩序な市街化から守るよう近郊緑地保全区域に指定され、その後、用地の買収と園路等の整備が完了したことから、広く環境学習の場として活用されることになりました。



この森は関東、東海地方で唯一、集水域の森林、河川、干潟が開発されずに連続して残されている自然環境と言われています。森、川、海のつながりが必要なアカテガニをはじめとして2千種とも言われる多くの生きものが棲んでいます。かつては薪炭林として利用されてきたことから、コナラなどの落葉広葉樹林が多いものの、常緑樹が混じるようになり、水路の固定化などにより低地の乾燥化や外来種の侵入も進んでいます。流域全体の生態系を保全する視点に立って、湿地の再生や外来種除去など、生物多様性の保全・回復に向けた取組に尽力してきたNPOをはじめ、地域住民や多くの市民、企業などと手を携えながら地域の宝として小網代の森を次の世代へ引き継いでいく必要があります。



### MAP



## 三浦市観光ポイント

三方を海に囲まれ、一年を通じて温暖な三浦市。  
美しい景色やおいしい魚料理などで出迎えてくれます。



**①小網代湾**  
横堀海岸・胴網海岸などプライベートビーチのような雰囲気が漂う海岸があり、海のアクティビティを楽しむことができます。  
※写真はスケルトンカヤック、スタンドアップパドル (SUP)



**②シーボニアマリーナ**  
小網代湾内にあり、一般のお客様にも利用できる「小網代湾 海の散歩クルーズ」を実施しています。一年を通じて気軽に楽しめるクルージングです。マリーナ内にはレストランもありますので、クルージングと併せてお食事も一緒にいかがでしょうか。電話：046-882-1212



**③うらり・うらりマルシェ**  
1階の「さかな館」では三崎のマグロや地魚をはじめ水産加工品や惣菜など、2階の「やさい館」では、農産物などが購入できる産直センターです。  
電話：046-881-6721



**④県立城ヶ島公園**  
三浦半島の最南端に、首都圏では数少ない島があります。相模灘に突き出した緑の島、城ヶ島です。この島の東半分には広がるのが、県立城ヶ島公園です。園内や周りの岩礁地帯では、大洋に面した島ならではの光景を目にすることができます。電話：046-881-6640

### ACCESS

京浜急行久里浜線終点三崎口駅から徒歩約30分、または①番・②番バス乗り場乗車、「引橋」下車徒歩10分、または「シーボニア入口」下車徒歩約15分  
※駐車場は引橋バス停近く、三浦市民交流拠点駐車場をご利用ください。

### お問い合わせ

- 神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター みどり課  
横須賀市日の出町 2-9-19 横須賀合同庁舎内  
電話：046-823-0210 (代)
- 神奈川県環境農政局 自然環境保全課  
横浜市中区日本大通 1 電話：045-210-1111 (代)

# 小網代の森 ガイドマップ



## ● 森で見られる動植物



**アカテガニ**  
陸地を好む不思議なカニですが、産卵（放仔）には海に下りる必要があるため、森・川・海のつながりが必要です。



**チゴガニ**  
白いハサミを振り上げかわいらしいダンスで求愛、なわばり宣言する干潟を象徴するカニです。



**ノコギリクワガタ**  
ご存知、カブトムシと並ぶ子ども達の遊び相手で国内に広く分布する代表的なクワガタムシ。



**ヤマユリ**  
日本に自生するユリの中でも最も大きな花を咲かせ日本人には馴染み深い、日本にしか生育していないユリです。



**モンキアゲハ**  
日本最大級のチョウで、関東以西に生息する南方系のチョウ。幼虫はサンショウ類、ミカン科の植物が食草です。



**ジャヤナギ**  
本州から九州の湿地に生える落葉広葉樹で雌雄異株ですが、雌株だけが知られています。

写真提供：NPO 法人小網代野外活動調整会議

小網代の森の出入口は引橋入口、宮ノ前峠入口、北尾根入口の3箇所です。上流の引橋から河口へ向かう谷の斜面にはコナラの林が広がり、谷筋のジャヤナギの林が夏には涼しげな木陰を提供してくれます。

谷が開けたオギやヨシ群落を過ぎると、干潟が広がり、チゴガニなど色々なカニが潮の満引に応じた営みを見せてくれます。森-川-海のつながりを保つことが多くの生きものを育むうえで大切であるということが分かってきています。



## 小網代の森で活動中!

公益財団法人  
**かながわトラストみどり財団**



都市近郊の身近なみどりから、箱根、丹沢などの山のみどりまで、行政や市民団体と連携し、良好な自然環境を次の世代へ引き継いでいく「かながわのナショナル・トラスト運動」を推進しています。小網代の森の保全を支援するトラスト会員や寄付金を募集しています。トラスト会員は普通会費(2,000円)に小網代の森への緑地保全支援会費(3,000円)と合わせて年間5,000円からのご支援をお願いします。会員になると機関誌「ミドリ」の発行や施設の優待などが受けられます。

電話:045-412-2525 www.ktm.or.jp



### えのきてラス

谷が開けたオギやヨシの群落の一角に大きなエノキが木陰を提供する場所に休憩できる場所としてテラスを設けました。干潟を眺めたり、谷を渡っていく風の音に耳を傾けたりしながら、譲りあってご利用ください。



### 谷戸低地

水の流れが川を下方向に浸食し、より低いところに水が集まるようになり、谷戸低地の乾燥化が進みました。水がなるべく谷戸低地全体を流れるようにNPOが流路の改修作業に取り組んでおり、湿地環境が少しずつ再生してきています。

## NPO 法人小網代野外活動調整会議



平成10年に設立され同17年に法人となりました。アカテガニのピオトープ整備や湿原回復作業、生物調査など自然環境の保全や環境教育の推進により、小網代の森の保全に大きく貢献しています。

## 京浜急行電鉄株式会社



京急グループは、自然豊かな「小網代の森」の保全を応援しています。森と干潟と海を感じる事ができる小網代の森へは、電車・バスをご利用ください。

## ● 注意



ごみは  
持ち帰りましょう



火の使用は  
禁止です



動植物は持ち  
帰らないでください



スズメバチや  
ヘビに注意



ペットは  
入れません



自転車・バイクは  
乗り入れ禁止です